



MIKI  
INTERNATIONAL  
ASSOCIATION

vol.  
80



三木市国際交流協会

<https://www.city.miki.lg.jp/soshiki/15/>



2023.12

## 姉妹都市フェデレーション市訪問

2023/8/21～8/28

市民11名(高校生6名、大人5名)、引率3名からなる市民訪問団がオーストラリア・ニューサウスウェールズ州・フェデレーション市を訪問しました。新型コロナウイルス感染症の影響で5年ぶりの訪問による交流となりました。

学校では生徒に案内してもらいながら学校生活を体験しました。ジャスチャーなども駆使して意思疎通した訪問団員は、言語理解が不十分な外国人に「やさしい日本語」を使う意義を実感したようです。また、フェデレーション市が制作された姉妹都市ドキュメンタリーフィルムの鑑賞会では、両市の四半世紀に及ぶ交流の歴史についてより深く知ることができ、この交流の大切さを互いに再認識しました。パトリック バーク市長が述べられた「私たちは言葉や文化が違って同じ人間、だから通じ合える」という言葉に感銘を受けました。

学校にて三木市や日本文化について英語でプレゼンテーションをする機会にも恵まれました。緊張の中、ホストファミリーに励まされながら最後まで発表できた経験は、大きな自信につながったと思います。「フェデレーション市から離れるときには逆ホームシックになった。人生のターニングポイントとなった」との声が聞かれるなど、このような素晴らしい体験はきっと今後の多文化共生の推進につながると思います。

\*ラジオ エフエムみっきい(76.1MHz)で訪問団員数名による英語と日本語による感想を放送しています。11月～2月



⑤ ラオス (ラオス語)



ຂອບໃຈ  
コブチャイ



監修  
プービエンブンナリーさん(左)  
イントゥーオンブンナリーさん(右)

# ぐるっとワールド in Miki

2023/10/15 かじやの里メッセみき

4年ぶりの大規模開催となったこのイベントには約700人が来場し、大盛況となりました。三木市内外に住んでいる外国人による母国の紹介や文化体験を通じて、多くの人々が異文化交流を楽しみました。各国の雑貨や食べ物販売を始め学校やサークル、地域団体によるゲームやクイズなどもあり、大人から子どもまで楽しめる内容でした。ステージでは日本の伝統芸やバリ舞踊もあり、最後には皆でセネガルの伝統音楽に合わせてダンスを踊り、会場全体が一つとなって盛り上がりました。来場者にとって今まで遠く感じていた国々が少し身近に感じられたのではないのでしょうか。

互いを知り、認め合うという多文化共生の第一歩を担うイベントを今後も継続していきたいと考えています。このイベントに関わってくださったすべての人々に心より感謝申し上げます。



～世界を知ろう！体験しよう！～





こどもも  
楽しめる  
ブースも  
ありました



外国の  
料理も  
楽しめ  
ました



### 参加者の感想

久々の祭りで盛り上がり、国籍関わらず皆がコミュニケーションを図っていて、「国際交流しているな」というのを直に感じました。知らない人同士でも楽しんでいった雰囲気がとてもよいイベントでした。

## まえむきに暮らす

ふいりぴんきょうわこくしゅしん  
フィリピン共和国 出身  
るーす あらてあ  
ルース アラテア さん



どれくらい日本に住んでいますか。

4年5か月、日本に住んでいます。

三木市は好きですか？

好きなところは、どこ、なにですか。

はい、好きです。三木のお気に入りのレストランは、かっぱずしです。1か月に1回、行きます。

母国と日本で同じこと、違うことは何ですか。

フィリピンの人々はステレオスピーカーをつけて大きな音で音楽をならすのが好きで、だれもクレームを言いません。日本は、とても静かで、となりから大きな音の音楽がきこえたら、けいさつにクレームを言います。

うれしかったことを教えてください。

旅行すること、おいしいものを食べること、映画をみること、音楽をきくこと、ときどき友達と電話ではなすこと、そして三木市のイベントに参加すること。とても、しあわせです。

困ったことを教えてください。

嫌な思いをしたことでもよいです。

日本人と日本語で交流することが、とてもむずかしいです。日本語できちんとたいおうできないと、いらいらします。あるとき、あたらしいアパートに引っ越し、家具をしょうりしていました。すると、下のかいに住んでいる男の人がその音におこって、自分の部屋から私の部屋のゆかをたたき、ドアをけて、ドアベルをなんどもならし、日本語でさげびました。私は彼が何を言っているのかわかりませんでした。

その時、どうしましたか。

私はとてもこわくて、アパートのスタッフに電話をかけました。スタッフが男の人と話したので、かいつし、同じようなできごととはもうおこりませんでした。

日本人に伝えたいこと、言いたいことは何ですか。

私は日本人の友だちがほしいと思っていますが、私の日本語はうまくないので、友だちになる方法を知りません。これから、文化をおしえあいながら、日本人と交流したいです。

## Kid's English こども英会話

共催:三木市ユネスコ協会 2023/8/19 教育センター

子どもがクイズやゲームを通じて楽しく英語を学ぶイベント「Kid's English こども英会話」が7年ぶりに開かれました。日本人の子どもだけではなく、フィリピン、ベトナム、ネパール、ミャンマーの子どもたちも参加し、ALT（外国語指導教師）や三木高校生リーダー達といっしょに英語のクイズに挑戦しました。

子どもたちは、画面に映し出された写真やヒントを見て、ジャマイカやフィリピン、アメリカ等、ALTの出身地を元気よく答えていました。また、ジャンケン・トレイン等のゲームで楽しんだ後は、グループに分かれてAnimal（動物）、Sport（運動）、Song（歌）、Food（料理）のテーマに分かれて話し合い、最後はそれぞれのテーマについてステージで発表しました。子どもたちは、動物のお面を着けたり、料理のレシピを発表したり、歌を歌ったりしました。

イベントの後、子どもたちは「いろいろな国の子どもと友達になれてうれしかった」、「はずかしかったけど、みんなといっしょに発表できてよかった」などと笑顔で話していました。このイベントを通じて、子どもたちが英語学習に興味を持ち、また国際理解を深めるきっかけになればと思います。



## 国際理解セミナー「チベット高原～人々の暮らしと音楽に触れて」

講師:川辺 ゆか さん

共催:三木市ユネスコ協会 2023/9/17 教育センター



どこまでも広がる青い空と高原を背景に懐かしい音色の楽器と澄んだ歌声。川辺さんは、チベット文字の美しさに惹かれたことがきっかけで、その国の文化や歴史に興味を持ち始め、ついには現地に赴き、師匠からダムニョンの演奏とチベット語による歌唱を習得されました。卓越された才能によりチベットのみならず他の国々の音楽にも精通されていて、世界中の仲間と音楽を通じて交流されています。音楽には人を繋ぐ力があると実感しました。

## 総合防災訓練 & 防災フェスティバル

2023/9/24 三木山総合運動公園

「総合防災訓練」（市主催）及び「防災フェスティバル」（三木防火協会・市消防本部主催）に17名が参加しました。総合防災訓練では、ホースを設置し、放水訓練を行い、地元住民とコミュニケーションを取りながらバケツリレーに参加し、防災技術について学びました。また、防災フェスティバルでは、煙体験コーナー等に参加し、災害が起きた時にどのように身を守るかを学ぶことができ、防災の意識を高める良い機会となりました。



## 第1回 日本語ボランティア養成講座

講師: 福井 武司さん  
(神戸YWCA学院日本語教師養成コースコーディネーター/兵庫県国際交流協会登録日本語教師)

2023/8/7 中央公民館

この講座では、ボランティアの心構えとして「話し上手よりも聞き上手になる」「相手の話を取らずに待つ」「自分が使っている日本語をできるだけ客観視し、やさしい日本語を意識する」等を学びました。どうすれば学習者が能動的に話したり学習したりするかという点について、ボランティアの働きかけが重要なのだということを教わりました。また、カレンダーやチラシを使った実践的な学習支援の進め方など、ユーモアを交えた講義はとても参考になりました。



### 受講者の感想

- ・学習者の立場に立った時にどのようなことに気を付ければいいのかというエッセンスをたくさん学べたと思う。
- ・大変面白く学びになった。グループワークでも気持ちが楽になった。
- ・今後地域の外国人と交流するのが楽しみになった。

## 第2回 日本語ボランティア養成講座

講師: 池田 典子さん  
(神戸市教育委員会・小学校JSL教室指導員)

2023/10/13 教育センター

学習者に寄り添った学習支援方法について、長年の日本語ボランティアとしての経験談などを交えて語られました。週1回90分のマンツーマン学習では学習者のレベルやニーズによって勉強の仕方は様々です。教材の使い方や生活の困りごとを聞いた時の対応など、具体的な話に受講生は熱心に傾聴していました。雑談の中から学習者が欲しい情報を拾い上げ、語学習得への動機づけにつなげる意識付けや、それぞれ文化背景が異なる学習者への配慮といった点などについて、わかりやすく学ぶことができました。



### 受講者の感想

- ・学習者一人一人の背景を知り、何を目標に学習するかを考える等といった点が参考になりました。
- ・実体験など具体的な事例から学ぶことが多くありました。
- ・学習者に接するうえで必要な心構えや配慮について聞いたので大変参考になりました。

## 日本語教室だより

### 学習者の紹介 福本 美紀さん

9月からはベトナム出身のタンさんと一緒に学習しています。来日して数ヶ月のタンさんは会話と文法を学びたいという事で、会話をメインに学習しています。会社での出来事や休日の過ごし方などの会話から新出単語や文法などを拾い出し、テキストも活用しながら学んでいます。

タンさんの会社のサポートが素晴らしくて、日本語ではそのサポートを『至れり尽くせり』と伝えたと、その言葉をすごく気に入って早速ノートに書いていました。ことわざにも興味を持ち、自分で調べて気に入ったことわざが見つかったと嬉しそうに教えてくれます。好きな事や興味がある事をテーマに日本語を学習し、楽しく続けていってもらえるようにこれからも取り組んでいきたいです。

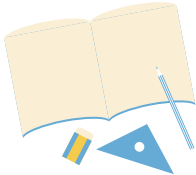


# 外国につながる子どもの居場所づくり

## 「にほんご de まなぼう」

2023/7/25~8/8 5回 広野小学校

三木高校の生徒と日本語教室ボランティアの延べ39人が外国につながる子どもの夏休みの宿題の手伝いをしました。参加した延べ37人の子どもは、ボランティアの丁寧な支援により熱心に宿題に取り組みました。また、回を重ねるごとに、他校の他の国出身の子どもと仲よく過ごすようになっていきました。このような機会は学習意欲と自己肯定感を高めるために今後ますます必要となっていくと感じています。



### ボランティアの感想

高校3年間を通して子どもたちに勉強を教える楽しさや難しさを学びました。日本語がしっかり伝わらない子にどうしたら言いたいことを伝えられるのか模索しながらでしたが、私自身も楽しみながらできました。教職目指して頑張ります

## 「日本語教室みきっず」

2023/7/25・26・31

三木市とグリコマニューファクチャリングジャパン(株)兵庫工場の共催事業「夏休み アイスクリーム手作り体験」に協力し、みきっずで学習する外国ルーツの子どもが地域の子どもと一緒にアイスクリームを作り、食しました。シリアやネパールなど6か国出身の子どもが共通語の日本語で交流を図り、まさしく国際交流のイベントでした。



### 学習者の紹介 竹本 優さん

2019年に来日したヤザンさんは小学3年生の男の子です。体を動かす事が大好きで、素敵な笑顔で毎回元気に教室へやってきます。

教室内では、学校の宿題をメインに学習をしています。算数の学習が得意で、計算スピードがとても早いです。日本の文化や学校での生活などについて話しながら学習しています。また、絵を描くこと折り紙、線つなぎなど

も得意なので、遊びも交えながら学習しています。やる気が出ない時は、「勉強は何分まで、遊びは何分から」と、自分で決めてメリハリをつけて学習に取り組む姿勢が見られます。



## MIA日本語教室

2023/5/27 中央公民館

インドから三木市へ短期留学しているスペイン人女性を受け入れました。来日までに少し勉強したものの、方言を多用する地元の日本人との会話には苦勞をされたようです。しかし、折り紙では、持ち前のコミュニケーション能力の高さで、他の国の方々とも打ち解け、器用に芸術的な作品を仕上げられました。



## 出前講座

### ラオスについて知ろう

講師:プービエン ブンナリー さん

内陸国のラオスではメコン川で漁をすること、もち米を主食とすることなどの話の後、参加者はラオス語で自分の名前を書きました。

2023/6/21 吉川町公民館



### 多国籍座談会～外国人住民を囲んで～

講師:バレンスエラ エドさん(ペルー)・中尾 プラパッソンさん(タイ)・プービエン ブンナリーさん(ラオス)・アミア ルワティさん(オーストラリア)

高校生の質問に対して外国にルーツがある人々が答えるという形で授業が行われました。初対面の緊張が徐々に解け、互いに理解が深まりました。



2023/7/13 三木高校

### 外国の文化の紹介

2023/7/18 吉川高校

講師:バレンスエラ エドウィン さん(ペルー)・周珍如 さん(中国)

在日が長いお二人が日本との比較をしながら、母国の紹介をされました。初めて見聞きする国について生徒は熱心に傾聴していました。

生徒の感想

- ・その国ごとの価値観、時間の使い方、人種や文化が異なることがあるけど、その違いを理解して行動し、協力していかないといけないと思いました。
- ・あまり外国の方と関わったことがないのですが、話を聞いていて興味をもちましたし、ネットで調べるよりも、その国の人の話を聞くのはとても面白かったです。



### 地域ふれあい実習

2023/9/12 関西国際大学

講師:ジャハン ゼブさん(パキスタン)・タチアナ サユリさん(ブラジル)・プービエン ブンナリーさん(ラオス)

日本は医療制度が整っていること、子どもの医療費の全額が助成されることなど、母国と比較し良い点を述べていました。



### 青山ふれあいネット人権啓発講座

2023/9/12 青山公民館

講師:チャウ ファム ドウック ハオ さん(ベトナム)・プービエン ブンナリー さん(ラオス)・ジャハン ゼブ さん(パキスタン)

地域の方々が講師を囲んで、母国の話や三木市に暮らしての感想などを聴きました。



### International BBQ Festival in Miki

2023/10/1 三木ホースランドパークエオの森

三木青年会議所の事業において当協会が紹介した外国ルーツの人々が、市民参加者に世界クイズを出題した後、世界のBBQを市民参加者に提供しました。英語で熱心に話しかける子どもの姿もあり、国際色豊かなイベントとなりました。



### ベトナムの紹介

2023/10/24 三樹小学校

講師:チャウ ファム ドウック ハオ さん(ベトナム)

小学1年生と2年生を対象にベトナムの人々の暮らしについてスライドを見せながら話しました。初めて見る景色や食べ物に興味津々で、途切れることのない質問もあり、活発な授業となりました。



# 三木市のまつり

7月のみっかい夏まつりではゆかたを着て、花火観賞など日本文化を満喫しました。

11月の金物まつりでは、タイの民芸品の販売や来場者と英語で交流するなど、地域の人々と国際交流を図りました。



みっかい夏まつり(7月)



金物まつり(11月)



金物まつり(11月)

# おしらせ&募集

## 2023年度 第3回 国際理解セミナー

### 姉妹都市交流ドキュメンタリーフィルム

～フェデレーション市・三木市 交流の軌跡と未来～

日時 2024年1月27日(土) 13:30～15:00

申込メ切  
1月12日

場所 教育センター4階 大研修室



三木市とオーストラリア・フェデレーション市の四半世紀の交流のドキュメンタリー、両市の人々のインタビューを交え、過去から現在までの軌跡をたどります。上映後、訪問団を囲んでのトークにご参加ください。

## COOL MIKI

### 日本語 de 発表

申込メ切  
2月4日

日時 2024年2月11日(日) 13:30～15:30

場所 市民活動センター 3階大会議室

第1部：日本語 de スピーチ  
第2部：日本語 de ソング



外国にルーツのある方々による日本語でのスピーチと歌のステージをぜひご覧ください！！

## ことばの教室

### ジョイントミーティング

日時 2024年3月10日(日) 10:00～12:30

申込メ切  
3月2日

場所 教育センター4階 大研修室

中国語初級・韓国語初中級・英会話入門  
英会話初級・英会話初中級・英会話中級  
英会話実用・日本語 のみなさんが発表します。



共に学習した仲間も他のクラスの学習者もこの交流を通して楽しい時間を共有しましょう。プレゼントが当たるお楽しみもあります。ぜひ、ご参加ください。

イベントやセミナーのお問合せ&お申込みは **三木市国際交流協会** まで

※イベントは警報の発令などにより中止になる場合があります。ご不明の場合は、三木市国際交流協会のホームページやフェイスブックをご確認ください。

## ボランティア募集

- 日本語教室で在住外国人の学習支援
- イベントなどでスタッフとして活動
- ホストファミリーとして外国人の受け入れ

事務局までお問い合わせください

三木市国際交流協会 事務局 (三木市上の丸町10-30)  
TEL&FAX: 0794-89-2318 メール: kokusai@city.miki.hyogo.jp



## ～多文化共生に向けた～ 出前講座のご案内

三木市国際交流協会 検索

## 出前講座メニュー

- ①三木市の国際交流について
- ②外国人と話してみよう
- ③外国人による母国紹介
- ④世界の料理教室



水曜日 12:35～

エフエムみっかい放送中

COOL MIKI「日本語de発表」[姉妹都市交流訪問団の感想]など



## 編集あとがき



今夏は姉妹都市交流事業の一環で、5年ぶりに市民訪問団がオーストラリア・フェデレーション市を訪問しました。帰国した団員から彼の地の先住民族であるアボリジニの歴史や文化に触れたことや子孫との交流についての話があり、かつて訪れた北海道の国立アイヌ民族博物館での記憶がよみがえりました。自然界全ての物に魂が宿るという精神文化などを継承し、先祖を敬う人々の姿に感動したことを思い出しました。

現在、世界5大陸の70か国以上に約5,000の先住民族が存在し、2007年、先住民族の権利に関する国連宣言が総会にて採択されました。歴史上、社会に強制的に同化させられ、世界でもっとも不利な立場のグループの1つとされる先住民族が結束を固めることは喜ばしいことです。同様に日本におけるマイノリティである外国ルーツの人々への関心度が高まり、多様性理解が進むことを強く願っています。

編集・発行

# 三木市国際交流協会

Miki International Association  
〒673-0492 三木市上の丸町10-30 (三木市役所4階)

TEL&FAX (0794)89-2318

E-mail kokusai@city.miki.hyogo.jp

HP&Facebook 三木市国際交流協会 検索